

＊教会とは

イエス様は言われました。「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。」(18節)「わたしの教会」を建てると言われました。教会は人間の思いを実現させる場所ではなくイエス様のみこころが行われ、全てがイエス様のためになされる場所。それが教会です。私たちが教会で何をしても全ての目的がイエス様のためにしているかということをもいつも考えたいと思います。「わたしの教会」ということばは、私たち古河教会が、私自身がイエス様の教会として建てられているか、イエス様のものとされているかということをお聞きします。もし私の中にイエス様以外のためになそうとしていることがあるならば私たちは悔い改めたいと思います。そしてイエスこそキリスト、イエスこそ教会の主であることを告白し確認しながらこの信仰に立って揺るがないイエス様の教会をこの古河の地に建て上げていきたいと願います。

＊教会の務め

イエス様はイエス様をキリストと告白する全ての者に御国のかぎを託されました。それは福音と戒規によって行使されます。この福音と戒規の2つの方法で私たちは教会を管理し、心ざわしく建て上げていく働きをイエス様から委ねられているということです。一人でも多くの方が主のもとに導かれて、救われていくために私たちが福音を宣べ伝えていく。教会に加えてくださる新しい家族が多く起こされるように祈り伝えていきたいと願います。また戒規になることがないように神の家族一人一人が、私自身が神様の前で喜ばれる歩みをするために互いに祈り励まし支え合っていく。それでも事が起きた時には他人事のように非難するのではなくて自分のこととして悲しみ、傷ついたら心を労わるように私たちはその人の回復を願っていききたいと願います。私たちはイエスの教会を建てようとする者としてイエス様のみことばに聴いて主のみこころをなさせてくださいと祈りつつこの務めに励む者でありたいと願います。

＊イエスと共に

イエス様は「わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てます。」と言われました。私たちに教会を建て上げる働きは託されましたがイエス様が責任を持って教会を建ててくださるということです。イエス様は私たちと共に教会を建て上げたいと願っておられます。イエス様ご自身が聖霊が働かれ私たちを用いてこの地に教会を建ててくださることを信じていきたいと願います。そして私たちはイエス様のことばに従い、聖霊にあって一致しながらこの主に託された働きに携わらせていただきましょう。

日本同盟基督教団 古河教会 牧師 長谷川
 〒306-0044 茨城県古河市新久田478-10 E-mail
 Tel: 0280-48-3088 Fax: 0280-48-6710 HP: www. kc



2015年 3月15日

古河教会 週報

礼拝のための祈り 司会者

礼拝順序

前奏	〔黙禱〕	
招きのことば	詩篇 149 篇 1 節～4 節	司会者
賛美	138 「よろずのもの」	一同
信仰告白	使徒信条	一同
主の祈り	マタイ 6 章 9 節～13 節	一同
賛美	33 「われ罪人の頭」	一同
聖書朗読	ピリピ 2 章 12 節～18 節	
説教	『救いを確かめよう』	
	長谷川 望 牧師	
応答の祈り		一同
賛美	375 「全き平和」	一同
献金	「今そなえる」	
お知らせと祈り		
頌栄	「父なる神と」	一同
祝禱	長谷川 望 牧師	
後奏		

<使徒信条>

わたしは、天地の造り主、全能の父である神を信じます。
 わたしはそのひとり子、わたしたちの主、イエス・キリストを信じます。主は聖霊によってやどり、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとで苦しみを受け、十字架につられ、死んで葬られ、よみにくだり、三日目に死人のうちからよみがえり、天にのぼられました。そして全能の父である神の右に座しておられます。そこから来られて、生きている者と死んでいる者とをさばかれます。わたしは聖霊を信じます。きよい公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、からだのよみがえり、永遠のいのちを信じます。アーメン。

第一礼拝 司会: 小谷内勝則 奏楽: 鯨井 愛 献金: 荒瀬トミ子 榎本満子 音響: 山村雅彦
 受付: 長谷川きみえ 案内: 鈴木治子 プロジェクター: 岡村 基 生花: 岡村京子
 第二礼拝 司会: 山村 賛 奏楽: 小林香菜子 献金: 野口明恵 石津優子 音響: 鶴谷美季
 受付: 荒瀬 麗 岡村みむね 案内: 浅野春美 プロジェクター: 荻野 健
 分餐: 第一 第二

<主の祈り> 天にいます私たちの父よ、御名があがめられますように。御国が来ますように。みこころが天で行われるように地にでも行われますように。私たちの日ごとの糧をきょうもお与ください。私たちの負いめをお赦してください。私たちも、私たちに負いめのある人たちを赦しました。私たちを試みに会わせないで、悪からお救いください。国と力と栄えは、とこしえにあなたのもだからです。アーメン。